

計画変更に伴う環境影響について  
(概要)

令和2年2月

沖縄防衛局

# 計画変更に伴う環境影響の予測・評価

## 【計画変更に伴う環境影響の予測及び評価の基本的な考え方】

- 工事計画の見直しによる周辺環境への影響について、見直し後の工事工程を基に予測。
- 見直し後の環境影響の予測結果を、現行の予測結果と比較して評価。

※ 環境影響の予測方法については、変更前と同様とするが、参照している基準等が改訂されている場合には、最新の基準等を使用。

## 【今回の環境監視等委員会における説明の概要】

- 今回の委員会では、主として、生物関係の項目について、 改変区域の変更や工事中の夜間照明の影響など、前回委員会で示した工事計画の変更によるシミュレーション以外の要素も含めて網羅的に予測・評価を提示。
  - 今回新たに考慮した要素は、影響が縮小するものや、当初の計画とほぼ変わらない内容であり、いずれの項目も、現行の予測結果と同程度又はそれ以下、との結果。
- なお、「水の汚れ」と「土砂による水の濁り」は、前回委員会で未提示であったコンクリート工事によるpHの変化と、海上工事による海底への土砂の堆積について予測・評価を提示。
  - コンクリート工事の施工量や土砂による濁りの発生量が、変更前と同程度であることから、これらの予測も現行の予測結果と同程度又はそれ以下、との結果。
- 残りの項目の予測・評価については、次回以降の委員会で提示予定。

### 《環境影響の予測項目》

- : 今回の委員会で提示する項目  
(生物に関する項目は、前回で提示した内容も含む)
- : 前回の委員会から引き続き提示する環境影響の予測項目  
(主な内容は前回で提示済み)
- : 前回の委員会で提示済みの環境影響の予測項目

大気質	騒音	振動
水の汚れ	土砂による水の濁り	地下水の水質
水象	地形・地質	塩害
海域生物 (水中音、水の濁り、水の汚れ、地形地質の影響については提示済み。)	サンゴ類 (水の濁り、水の汚れ、水象、地形地質の影響については提示済み。)	海藻草類 (水の濁り、水の汚れ、水象、地形地質の影響については提示済み。)
ジュゴン (水中音、水の濁り、水の汚れ、水象、地形地質の影響については提示済み。)	陸域動物 (大気質、騒音の影響については提示済み。)	陸域植物 (大気質の影響については提示済み。)
生態系(陸域及び海域) (騒音、水の濁り、水象、地形地質の影響については提示済み。)	景観	人と自然との触れ合いの活動の場
歴史的・文化的環境	廃棄物等	

※「景観」、「人と自然との触れ合いの活動の場」、「歴史的・文化的環境」、「廃棄物等」については、次回以降の環境監視等委員会で提示予定

# 計画変更に伴う環境影響の予測・評価

(参考)

各予測項目における変更後の主な予測結果・評価は以下のとおりであり、現行の予測結果と同程度又はそれ以下と予測・評価。

予測項目	水の汚れ	土砂による水の濁り	地下水の水質	塩害
予測項目	・コンクリート工事に伴うpHの変化	・堆積	・地下水位、地下水質、地下涵養	・代替施設本体の護岸工事、埋立工事による影響、代替施設等の存在による影響、作業ヤードの影響等
変更後の主な予測結果・評価	・水中コンクリート打設に伴うpHの変化の程度は、変更前と同様、水質変化の程度は小さく、増加域は施工場所近傍であることから、予測結果・評価は変更前と変わらない。	・全工事期間の堆積厚、堆積範囲の予測は、変更前と同様、施工箇所近傍に限られることから、予測結果・評価は変更前と変わらない。	・地下水位、地下水質、地下涵養への影響は、埋立土砂発生区域の改変範囲が縮小し、変更前と同様の環境保全措置※を講じることから、予測結果・評価は変更前と変わらない。 (※透水管の設置、緑地の原状回復等)	・護岸及び埋立工事、施設等の存在等による影響は、代替施設本体の位置等が変わらないことから、植物等への塩害が発生及び増加する可能性はないという予測結果・評価は変更前と変わらない。 ・作業ヤードの影響については、作業ヤード取り止めのため、工事による影響は生じない。
予測項目	海域生物	サンゴ類	海藻草類	ジュゴン
予測項目	・振動、夜間照明、作業船の航行、海底地形の改変	・注目すべきサンゴ群生	・夜間照明	・振動、夜間照明、作業船の航行、ジュゴンの個体及び個体群維持
変更後の主な予測結果・評価	・海上工事の実施に伴う振動の影響は、変更前と同様に工事の実施箇所近傍の局所的な範囲に限られることから、予測結果・評価は変更前と変わらない。 ・他のいずれの予測項目の予測結果・評価も変更前と変わらない。	・注目すべきサンゴ群生への影響は、水質変化、流況変化等が変更前後で大きく変わらないことから、予測結果・評価は変更前と変わらない。	・短期間の夜間工事が行われるが、夜間照明を用いる工種や施工方法に大きな計画変更はなく、夜間照明が海藻草類に及ぼす影響についての予測結果・評価は変更前と変わらない。	・海上工事の実施に伴う振動の影響は、変更前と同様に工事の実施箇所近傍の局所的な範囲に限られることから、予測結果・評価は変更前と変わらない。 ・他のいずれの予測項目の予測結果・評価も変更前と変わらない。
予測項目	陸域動物	陸域植物	海域生態系	陸域生態系
予測項目	・水の濁り、夜間照明、車両の運行、土地の改変、生息環境の変化、切替え後の美謝川の変化	・土地の改変、水の濁り、夜間照明、風環境や微気象の変化、飛来塩分量の変化(塩害)、波浪や流況の変化	・水の汚れ、振動、夜間照明、埋立土砂による動植物種の混入、海底地形の改変	・基盤環境に対する影響、地域を特徴づける生態系の注目種、生態系の機能と構造等
変更後の主な予測結果・評価	・土地の改変による影響は、辺野古地先水面作業ヤードの取り止めにより、回遊性動物に影響は及ばない。また、変更前と同様の環境保全措置※を講じることから、予測結果・評価も変更前と変わらない。 (※ 動物の生息適地の検討・移動) ・他のいずれの予測項目の予測結果・評価も変更前と変わらない。	・土地の改変による影響は、保全上重要な植物群落の消失割合が、変更前と同程度であることから、予測結果・評価は変更前と変わらない。 ・他のいずれの予測項目の予測結果・評価も変更前と変わらない。	・海上ヤードの設置に伴う海底地形の改変による影響は、設置位置と地域を特徴付けるサンゴ礁生態系の分布域との位置関係が変更前から大きく変わらないことから、予測結果・評価は変更前と変わらない。 ・他のいずれの予測項目の予測結果・評価も変更前と変わらない。	・陸域生態系の基盤環境に対する影響は、辺野古地先水面作業ヤード及び仮設道路の一部取り止めにより、変更前から低減する。また、変更前と同様の環境保全措置※を講じることから、工事により生じる変化についての予測・評価は変更前と変わらない。 (※ 低騒音型建設機械の使用、防塵等) ・他のいずれの予測項目の予測結果・評価も変更前と変わらない。